



港湾産別春闘、4月6日の中央団交次第 要求前進に向け、職場の意志を固めよう

17春闘も大詰めに差し掛かってきた。4月2日は全国港湾産別ストライキ決行となり、全国の港で整然と行動が取られた。業界団体である日本港運協会は4月6日に中央港湾団交の開催を申し入れてきており、4月6日の中央港湾団交が注目されている。この団体交渉が決裂となれば4月8日からの48時間ストライキとなることから、交渉が時間を要することも予想されている。団結の力で要求を前進させていこう。

全港湾の統一要求については、全港湾第5回中央執行委員会で戦術確認がおこなわれ、4月14日までの解決を目指し、回答が不満の場合は4月15日に24時間ストライキを構えるとした。賃金引上げ、65歳定年延長、労災企業補償額の引き上げを勝ち取っていかう。

闘争分会の回答状況：327分会中183分会（56％）に有額回答が示され、回答額平均は3、228円、率で1.19％、昨年同時期と比べると758円の減となっている。参考までに、昨年の最終の回答額平均は3、445円、妥結額平均は3、488円であった。

職種別の回答状況：港湾の回答額平均は3、656円（昨年同時期の回答額4、364円を708円下回っている）、トラックの回答額平均は1、648円（昨年同時期の回答額2、539円を891円下回っている）、一般の回答額平均は2、920円（昨年同時期の回答額4、096円を1、176円下回っている）。

速報分会回答状況

144分会中97分会（67％）に有額回答が示され、回答額平均は3、478円、率で1.17％であった。参考までに、昨年の最終の回答額平均は3、722円、妥結額平均は3、743円であった。

2017：春闘

<地方別一覧>

2017/04/04 現在

地方名	速報分会数	回答分会数	妥結分会数	回答額平均	妥結額平均	率
北海道	7	7	0	5,048	-	1.63%
東北	11	11	0	4,088	-	1.31%
日本海	8	8	0	3,772	-	1.34%
関東	13	12	0	2,740	-	0.82%
東海	14	0	0	-	-	-
関西	40	31	0	2,727	-	0.89%
四国	13	11	0	948	-	0.34%
九州	28	7	0	1,400	-	0.47%
沖縄	10	10	0	2,973	-	1.12%
全国	144	97	0	3,478	-	1.17%